

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年1月27日

上場会社名 株式会社 島精機製作所 (コード番号：6222 東証・大証各第1部)
(URL http://www.shimaseiki.co.jp/)

代表者 代表取締役社長 島 正博
問合せ先責任者 常務取締役経理部長 田中 雅夫

TEL(073)471-0511(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 固定資産の減損に係る会計基準の適用
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)1社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (金額の表示: 百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第3四半期	26,918 17.2	2,338 65.8	3,861 41.5	2,216 46.9
17年3月期第3四半期	32,519 1.7	6,836 8.8	6,603 8.5	4,176 8.5
(参考)17年3月期	46,094	9,257	9,363	5,930

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	60 45	-
17年3月期第3四半期	113 75	-
(参考)17年3月期	159 97	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	106,992	93,842	87.7	2,559 56
17年3月期第3四半期	104,739	90,351	86.3	2,464 18
(参考)17年3月期	107,234	92,115	85.9	2,510 71

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	91	1,688	1,288	6,126
17年3月期第3四半期	1,901	567	749	4,089
(参考)17年3月期	3,346	819	823	8,998

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	39,000	6,000	3,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 93円83銭

* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の連結業績は、当社のコア・ビジネスである横編機事業の主要市場である香港・中国においては、昨年1月の輸入割当制限解除（クォータフリー）を契機とした繊維製品の輸出急増により欧米諸国との貿易摩擦が拡大し、米国のセーフガード発動および中国政府の輸出自主規制政策の影響により設備投資が停滞しました。昨年11月には米中繊維交渉が合意に達し、今後は秩序ある輸出に向け生産体制の整備が進むと見られるものの、期中における回復には至りませんでした。欧州市場では11月にミラノで開催されたI K M E（国際ニット機械見本市）での高評価を受け、イタリアを中心にホールガーメント®（無縫製ニット）横編機の拡販に傾注しましたが、中国からの輸入品攻勢の影響が大きく、厳しい状況が続きました。上半期堅調であった中東のトルコでも、主な製品輸出先である欧州やロシアでの中国製品との競合が影響し、第3四半期の売上は減少しました。国内市場においては、7月末にホールガーメント®横編機発売10周年を記念した「ファッションショー」を開催し、積極的な営業活動を展開しましたが、輸入ニット製品比率が依然として高く、厳しい業界環境の中で新規の設備投資が伸び悩み前年同期に比べ大幅に減少しました。この結果、横編機事業全体では前年同期比21.9%減となりました。

デザインシステム関連事業では、ニット・アパレル業界のトータルソリューションの核となる「SDS-ONE」の提案販売に注力しましたが、海外および国内市場ともに前年同期を下回る結果となりました。

手袋靴下編機事業では、韓国市場が堅調な推移となったことに加え、アジアの新興国での作業手袋生産に拡がりが見られたことで全体として持ち直し、前年同期比19.4%増加しました。

この結果、当第3四半期全体の売上高は269億18百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に加えて、受注減に伴う生産調整によるコストアップによって売上総利益率が低下したことや、債務保証損失引当金の計上およびイベント費用等で販管費が増加したことにより、営業利益は23億38百万円（前年同期比65.8%減）となりました。経常利益は為替相場が円安傾向で推移したことにより為替差益が発生し、38億61百万円（前年同期比41.5%減）となり、当第3四半期純利益は22億16百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

* ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少して、1,069億92百万円となり、また株主資本は17億27百万円増加して938億42百万円となりました。この結果、株主資本比率は87.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においてはたな卸資産の増加や仕入債務の減少により91百万円の支出となりました。投資活動における支出は新工場建設に伴う有形固定資産の取得を中心に16億88百万円となりました。また、財務活動における支出は配当金の支払等により12億88百万円となりました。これらの活動の結果、現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末から28億71百万円減少し、61億26百万円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績につきましては、当第3四半期の売上動向を踏まえ平成18年3月期中間決算発表時の業績予想の売上高を390億円に減額修正いたします。利益面におきましても売上減少に伴い営業利益45億円、経常利益60億円、当期純利益35億円にそれぞれ修正いたします。修正の要因は、海外市場における業績回復のペースが中間期予想よりずれ込む見込みとなり、また国内市場においても当面厳しい環境が続くと予想されることなどによります。なお、横編機部門の主要市場である香港・中国市場においては、欧米との貿易摩擦の収束に伴い需要の回復が見込まれ、欧州市場においてもI K M Eの効果によりホールガーメント®横編機の拡販が期待されます。

<参考>

平成18年3月期の個別業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	38,000	5,500	3,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）80円32銭

* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
. 売 上 高		26,918	32,519	5,601	17.2	46,094
. 売 上 原 価		15,175	17,210	2,034	11.8	25,276
売 上 総 利 益		11,742	15,309	3,567	23.3	20,817
. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		9,403	8,473	930	11.0	11,559
営 業 利 益		2,338	6,836	4,497	65.8	9,257
. 営 業 外 収 益		1,575	325	1,249	383.5	462
. 営 業 外 費 用		52	558	505	90.5	356
経 常 利 益		3,861	6,603	2,742	41.5	9,363
. 特 別 利 益		-	227	227	-	227
. 特 別 損 失		246	49	197	398.2	72
税 金 等 調 整 前 四半期(当期)純利益		3,614	6,781	3,166	46.7	9,518
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,142	1,523	380	25.0	2,739
法 人 税 等 調 整 額		268	1,046	777	74.3	813
少 数 株 主 利 益 又 は 損 失 ()		12	34	47	-	34
四 半 期 (当 期) 純 利 益		2,216	4,176	1,960	46.9	5,930

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資 産 の 部)				%	
・ 流 動 資 産	75,045	74,719	326	0.4	76,862
現金及び預金	7,309	5,435	1,874		10,187
受取手形及び売掛金	54,826	55,903	1,076		55,581
たな卸資産	12,203	12,729	525		10,934
そ の 他	3,158	2,733	424		2,411
貸倒引当金	2,453	2,081	371		2,253
・ 固 定 資 産	31,946	30,020	1,926	6.4	30,372
1. 有形固定資産	19,260	18,021	1,239	6.9	18,205
建物及び構築物	6,537	5,500	1,037		5,453
土 地	10,571	10,287	283		10,611
そ の 他	2,151	2,233	81		2,140
2. 無形固定資産	155	116	38	32.8	138
3. 投資その他の資産	12,530	11,881	648	5.5	12,028
投資有価証券	5,120	4,191	929		4,447
そ の 他	8,585	8,639	53		8,555
貸倒引当金	1,176	948	227		975
資 産 合 計	106,992	104,739	2,252	2.2	107,234
(負 債 の 部)					
・ 流 動 負 債	10,511	11,819	1,307	11.1	12,550
支払手形及び買掛金	4,252	5,312	1,060		5,429
賞与引当金	429	602	172		708
そ の 他	5,829	5,904	74		6,413
・ 固 定 負 債	2,454	2,378	76	3.2	2,384
退職給付引当金	1,539	1,501	37		1,498
役員退職慰労引当金	915	876	38		886
負 債 合 計	12,966	14,197	1,230	8.7	14,935
(少 数 株 主 持 分)					
少 数 株 主 持 分	183	191	8	4.4	183
(資 本 の 部)					
・ 資 本 金	14,859	14,859	-	-	14,859
・ 資 本 剰 余 金	21,724	21,724	0	0.0	21,724
・ 利 益 剰 余 金	63,879	61,627	2,252	3.7	63,381
・ 土 地 再 評 価 差 額 金	4,552	5,135	582	-	5,135
・ その他有価証券評価差額金	702	78	623	792.3	155
・ 為 替 換 算 調 整 勘 定	84	124	39	-	189
・ 自 己 株 式	2,686	2,679	6	-	2,680
資 本 合 計	93,842	90,351	3,491	3.9	92,115
負債、少数株主持分 及び資本合計	106,992	104,739	2,252	2.2	107,234

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 17 年 3 月期
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,614	6,781	9,518
減価償却費		732	731	997
貸倒引当金の増加額		380	483	689
受取利息及び受取配当金		348	235	333
売上債権の減少額(増加額)		836	4,170	3,950
たな卸資産の増加額		1,240	2,340	452
仕入債務の増加額(減少額)		1,887	459	616
その他		60	586	338
小 計		2,147	2,295	7,423
利息及び配当金の受取額等		334	228	311
法人税等の支払額		2,572	4,425	4,388
営業活動によるキャッシュ・フロー		91	1,901	3,346
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の純減少額(純増加額)		65	386	230
有価証券の純減少額(純増加額)		179	19	65
有形固定資産の取得による支出		1,034	968	1,318
投資有価証券の純減少額		90	173	420
その他		630	633	243
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,688	567	819
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
配当金の支払額		1,282	1,302	1,376
その他		5	553	552
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,288	749	823
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		100	38	24
・ 現金及び現金同等物の増加額(減少額)		2,968	3,180	1,728
・ 現金及び現金同等物の期首残高		8,998	7,269	7,269
・ 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		96	-	-
・ 現金及び現金同等物の期末残高		6,126	4,089	8,998

セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

(1) 当 四 半 期 (平成17年4月1日 ~ 平成17年12月31日) (単位:百万円)

	横 編 機 事 業	デ ザ イ ン シ ス テ ム 関 連 事 業	手 袋 靴 下 編 機 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	21,298	1,180	2,367	2,070	26,918	-	26,918
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	21,298	1,180	2,367	2,070	26,918	-	26,918
営 業 費 用	16,206	945	1,740	1,926	20,819	3,759	24,579
営 業 利 益	5,092	234	627	143	6,098	(3,759)	2,338

(2) 前年同四半期 (平成16年4月1日 ~ 平成16年12月31日) (単位:百万円)

	横 編 機 事 業	デ ザ イ ン シ ス テ ム 関 連 事 業	手 袋 靴 下 編 機 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	27,262	1,310	1,982	1,964	32,519	-	32,519
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	27,262	1,310	1,982	1,964	32,519	-	32,519
営 業 費 用	18,186	869	1,374	1,730	22,160	3,522	25,683
営 業 利 益	9,075	441	607	234	10,358	(3,522)	6,836

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品等

- (1) 横 編 機 事 業-----コンピュータ横編機、セミジャカード横編機
- (2) デザインシステム関連事業-----コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム
アパレルCAD / CAMシステム
- (3) 手 袋 靴 下 編 機 事 業-----シームレス手袋・靴下編機
- (4) そ の 他 事 業-----編機・デザインシステム用部品、エラスチカ(系)、修理、
保守、ホテル業